

令和8年度 施設管理運営事業評価票(令和7年度実施分)

1 評価対象施設

公の施設の名称		宝塚市立末成集会所			
所在地		宝塚市末成町37番10号			
指定管理者	団体名	末成町自治会	指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	宝塚市末成町17番16号		終了日	令和8年3月31日
選定方法		非公募	評価実施年	指定期間5年のうち5年目	
施設設置目的		地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため。			
主な実施事業		会館管理運営事業			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用回数	回	-	254	-	260	-	240	-	242
b 稼働率	%	-	11.6	-	11.8	-	11.0	-	11.1
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区 分		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度決算
収入計	A	293	319	268	290
指定管理料		84	84	84	84
利用料収入	C	184	204	173	204
自主事業収入		0	0		0
その他		25	31	11	2
支出計	B	175	315	209	247
指定事業費		175	315	209	247
内、人件費	D	0	0	0	0
内、再委託料	E	0	0	0	0
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	118	4	59	43
利用料金比率	C/A	62.8 %	63.9 %	64.6 %	70.3 %
人件費率	D/B	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
再委託費比率	E/B	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	
------	--

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見 (成果、課題等)	明るく住みよい安全・安心な末成町をつくるため、地域活動の拠点施設として、末成集会所を末成町自治会会員以外の多くの住民に開放し、利用率の向上に努めているが、部屋の広さが利用者が思うほど広くないので懸念されている。 令和7年度においては、利用団体の登録・抹消もあり、個人レッスンの方の発表の機会がないという理由で利用も少なかったが、利用回数及び稼働率は前年度とほぼ横ばいとなった。 令和8年度においてもさらなる利用促進を図るため、広くアピールする。		
施設所管課所見 (成果、課題等)	コミュニティ活動の促進を図るため、地域住民の学習、文化、健康増進等の活動を積極的に支援されており、指定管理者である末成町自治会の会員以外の住民の利用にも配慮され、施設の有効活用への取組を継続的にされている。 当施設は立地あるいは部屋数等の条件が必ずしも良いわけではなく、通信環境を整備し利用者の利便性を図るなどの対策を講じるものの、利用回数、稼働率ともに低位にある。 今後も利用率の向上に努めながら、適切な運営をされることを期待する。		
前年評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準:	A (優良)	= 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好)	= 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善)	= 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
総合評価:	A (優良)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好)	= 優良、要改善以外の評価
	C (要改善)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。